

区分	専門分野Ⅱ	単位	2単位
科目名	母性看護学実習	時間数	90時間
講師名	専任教員	履修学年	3年次
概要	母性看護学の特性を理解し、対象に適切な看護を実践できる能力を養う。		
学習目標	1. 妊娠・分娩・産褥期及び新生児期の生理的・心理的変化を理解できる。 2. 妊産褥婦及び新生児に応じた看護の必要性を理解し、基本的看護を実践できる。 3. 母性看護における保健指導の重要性を理解できる。 4. 対象との関わりを通して、生命の尊さ・母性への考えを深めることができる。 5. 医療チームの一員としての自覚を持ち、責任ある行動がとれる。		
授業内容（実習内容）			
実習場所： 市内病院 3 か所			
実習方法： 3週間の実習を行う。 オリエンテーション（2 h） 学内実習では、妊娠・分娩・産褥期や新生児期の看護における知識を深め、演習にて技術を習得する（24 h） 臨地実習では、受け持ち褥婦や新生児を持ち指導のもと看護実践する（64 h）			
実習内容： 別紙参照			
使用教科書・教材・参考書			
新体系看護学全書「母性看護学① 母性看護学概論／ウィメンズヘルスと看護」 メヂカルフレンド社 新体系看護学全書「母性看護学② マタニティサイクルにおける母子の健康と看護」 メヂカルフレンド社 看護実践のための根拠がわかる 母性看護技術 メヂカルフレンド社			
成績評価の方法			
出席状況、沐浴試験、実習目標の達成度、実習態度、記録物等による総合評価			
備考			